

学校自己評価(中間反省)資料

評定	具体的な内容	問題点に対する改善案
教育目標		
①思いやりのある子供 ②すすんで学ぶ子供 ③ねばり強くやりぬく子供		
① 3.0 ② 2.9 ③ 2.8	<p>○自主勉強を始めてから進んで学ぼうとする子供が増えてきた。</p> <p>○学校便り, 学年便りできめ細やかに連絡事項を伝えている。また, 様々な質問や要望に丁寧に対処なさっている校長先生, 教頭先生, 黒田先生に感謝している。</p> <p>○懇談会の際の児童の預かり, 夏休みの図書室開放など, 保護者の要望にこたえている。</p> <p>△ほとんどの子供が進んで学ぼうとするが, 震災の影響なのか, とりわけ転入児童の中に, 極めて不安を訴える児童がいて, 授業の中で個別に配慮が必要な子供が増えている。</p>	<p>・個人面談等の機会に児童の様子や個別に行っていることを伝えて, 今後どのような対応していったらよいか話し合い, 解決策を見つける。</p>
めざす学校像		
①笑顔あふれる楽しい学校 ②元気いっぱい活動する学校 ③期待と信頼に応える学校		
① 3.0 ② 3.1 ③ 3.0	<p>○様々な教育活動において, 今年度の具体像が反映され, 言葉として前面に出されていて, 子供たちの中にも職員の中にも浸透していた。そのことにより, さらに具体的にどう行動していこうかと常に考えるようになっていたと感じる。</p> <p>○問題が起こったときの早期対応, 解決に努め, 一人一人の児童が楽しく元気に活動できるよう頑張っている。</p> <p>○あいさつ運動や朝の会のあいさつなどに大きな声で元気良くあいさつできるように取り組んだ。</p> <p>○休み時間に外遊びをする子供が多いと感じた。</p> <p>○日々努力して家庭との連携に努めている。</p> <p>△外遊びの奨励が難しい。</p>	<p>・不安が続いているが, 学校は楽しい, 安全だと子供たちが実感する努力を続ける。</p> <p>・継続して朝の会, 帰りの会など, あいさつをしていきたい。</p>

本年度の努力事項

評定	具体的な内容	問題点に対する改善案
教育活動の充実		
<p>①基礎的・基本的な学習内容の習得の徹底を図る。 ④体験的, 問題解決的活動を重視した授業づくりに努める。</p> <p>②個に応じた指導の一層の充実に努める。 ⑤授業時数を確保し, 確かな学力の向上に努める。</p> <p>③特色ある教育課程の編成に努める。 ⑥校舎建築のよさを生かした施設・設備の有効な活用を図る。</p>		
2.9	<p>○毎日算数プリント「おみやげ」の宿題を続けることで, 基礎的な学習の習慣はついていると思う。</p> <p>○4月の短縮授業のため, 今のところ時数は少ないが他の学校より本校は進度を考えている。転出児童のことも考えて配慮している。</p>	<p>⑤夏休みが減ったのでそこで時数が増える。また,</p>

	<p>○震災後、少し遅れてのスタートとなったが、夏休みの授業日もなく、授業時数の確保ができています。</p> <p>○教科書が変わり学習内容が増えたことを実感している。4～7月の指導の反省を生かして9月以降計画的に学習を進めたい。</p> <p>○学年内の連携がスムーズで、学年フロアを活用した集会や授業、指導、掲示が行われていた。</p> <p>△授業内にプリント学習まで進めなかったときがあり、時間配分を考えて授業を進めたい。</p> <p>△授業時数の確保も大切だが、45分をしっかりとれるようにしていきたい。</p>	<p>学年で授業の追加内容を話し合い、効果的な指導を共有する。今後も災害や病気に備えて極力遅れないように努める。</p>
<p>健康安全教育の推進</p> <p>①健康の増進と体力の向上 ③安全教育及び防犯教育の推進と防犯教室・集団下校訓練の実施</p> <p>②食に関する指導の充実 ④地震災害に備えた、学校施設及び備品の保守点検の強化</p>		
2.9	<p>○声かけにより、外遊びが増え、体力向上につながっている。</p> <p>○食に関しては給食指導を中心にクラス内でバランスよく食えること、量の調整をすることを指導してきた。今後栄養士の先生からのお話を交えた指導を行いたい。</p> <p>○健康指導、安全指導などの機会が多く十分に行われている。</p> <p>○引渡訓練が手際よくいった。備え付け名簿の工夫・改善もよい。</p> <p>△給食の残食が多くなっているので、食べ物の大切さを伝えていきたい。</p>	<p>・栄養士の先生をお招きしての授業を取り入れていく。</p> <p>・担任が積極的に外に出て一緒に体を動かすとともに、指導の徹底を図る。</p>
<p>心の教育の推進</p> <p>※①心のこもった「あいさつ運動」の推進→協働型②にまとめて記入 ③体験活動を生かした道徳教育の充実</p> <p>②学校教育全体を通しての道徳教育の推進 ④教育活動全体を通じた人間尊重の教育の推進</p>		
2.8	<p>○忙しい中ではあるが、道徳の時間の確保に努めた。道徳の副読本の活用。</p> <p>○昨今、心を忘れたものや金に走る不道徳な大人が多くみられる。小学校のうちから道徳教育を充実すべきだと思う。</p> <p>○各教科で体験活動を生かしながら道徳との連携をはかってきたので今後も継続して指導していきたい。</p>	
<p>特別支援教育の充実</p> <p>①交流学习の推進と交流学級での指導の充実 ③特別支援教育コーディネーターの活用と教育相談の充実</p> <p>②一人一人の子供の教育的ニーズを把握した適切な教育課程の編成</p>		
3.1	<p>○交流学年や学級で温かく受け入れていただき、感謝している。校内リレー大会では、子供たちそれぞれに力を発揮することができた。</p> <p>○コーディネーターの先生を中心に教育相談や配慮児童に関する話し合いの機会が十分に設けられている。</p> <p>○配慮を要する児童の相談にのって頂き、ありがとうございます。</p> <p>△いつも配慮を要する児童の相談にのっていただき、助かっている。コーディネーター連絡会だけでなく、全体での研修会等もあればいい。</p>	<p>・通常学級の発達障害のある児童理解と指導法を考える研修会を実施したい。</p>
<p>生徒指導の充実</p> <p>①問題を未然に防ぐ、生徒指導の推進 ④教育相談の充実</p> <p>※②心のこもった「あいさつ運動」の推進→協働型②にまとめて記入 ⑤長町南小安全マップを活用した安全教育の促進</p>		

③学校不適応, 不登校気味な子供への対応と支援		⑥中学校の健全育成委員会と連携した, 安全な地域環境づくり
3.1	<ul style="list-style-type: none"> ○学校生活のきまりや社会生活のルールを身に付け, 学校生活を楽しく送ろうとする意識を育てるよう努力してきた。 ○全職員の共通理解のもと, 動くことができている。年度初めに全体会を実施するやり方がとても良い。 ○管理職の先生方や石野先生に入っただき, とても充実した教育相談がもてた。また, 今後の指導のあり方や方向性を考えていく際, 両親同席による話し合いがとても大切であると感じた。 ○配慮が必要な児童について, 石野先生に授業中の様子を見てもらい, 対応をアドバイスいただいた。専門的立場から考えていただけてとても勉強になる。 	
情報教育の充実		
①コンピュータリテラシーと学年段階に応じたカリキュラムの作成		③情報モラルの育成(児童・教職員)
②放送機器の効果的な活用と適切な管理		④情報管理体制の徹底
2.8	<ul style="list-style-type: none"> ○月1回程度のパソコンの時間を確保して, 学年に応じた指導を行ってきている。情報モラルについてもしっかり指導していきたい。 ○昼の放送や賞状伝達, 児童会行事など, テレビ放送を有効に活用している。 ○情報モラルの冊子をもとに指導をしたところ, とてもよかった。 	・学年のコンピュータ学習や情報モラルの指導に関わる職員研修を行う。
図書館教育の推進		
①読書活動の充実		②学習・情報センターとしての活動の充実
		③読書環境の整備・充実
3.1	<ul style="list-style-type: none"> ○バーコードの活用により, 返却がスムーズになっている。短い休み時間にも図書室を利用するようになった。 ○読み聞かせや図書室など, 充実していると思う。また学年フロアの本も要望に応じていただいととても助かっている。 ○いつも読書環境を整備していただき, 感謝しています。また授業で必要な資料などもすぐに用意して頂き, 助かっている。 △国語の教科書が東京書籍に変わったので, 教科書の関連の図書の見直しを図る必要がある。 △図書資料以外の情報センターとしての充実は今後の課題である。 	
現職教育の充実		
①教師の資質を高める共同研究の充実と授業研究の推進		②外部研修への積極的参加
		③地域の協力者や外部講師の導入による授業の活性化
2.8	<ul style="list-style-type: none"> ○学年で生活科の研究を進めてきた。今年度から通学路の安全が加わり, 安全のための施設だけでなく, 地域の方々が見守ってくれていることの気づきを重視して指導してきた。 ○特別支援教育についての校内研修を行い, 障害の理解と対応の仕方についてみんなで力をつけていけるとよい。 ○生活科のゲストティーチャーの参加は子供たちの意欲づけにとっても有効であった。 	
開かれた学校運営の推進		
①学校経営への積極的な参加		⑤家庭や地域との連携による教育の推進
②教育相談の推進		⑥子供の安全に関わる連携
③地域に根ざした特色ある教育活動の展開		⑦学校評議員学校関係者評価委員の委嘱・学校評価の実施

④保護者や地域の人材の積極的な活用	
3.1	<p>○生活科「町探検」の活動エリアを地震が多発しているということを考慮して狭めた。どの店も協力的でありがたかった。</p> <p>○寿楽会のお年寄りの方々に年間を通して、お世話になっている。5月には、さつまいもの苗植え、除草作業を一緒に行った。</p> <p>10月には収穫祭、2月には昔遊びを予定している。</p> <p>○学習ボランティアや読み聞かせ、各学年の保護者のお手伝い依頼など、多様な形で開かれた学校になっている。</p> <p>○1年生の生活・学習サポーターの方には大変助けられた。</p> <p>△授業日の毎日のブログ更新を目指しているが、達成していない。</p>

仙台版・協働型学校評価について

取組の効果と児童の変容
<p style="text-align: center;">「えがおであいさつ」に関する取組全般を通して(学校全体としての反省)3.1</p> <p>○朝は一番先に教室に行き、子供たちを迎え、あいさつをした。あいさつが友達同士でも飛び交うようになってきた。</p> <p>○計画をもとに具体的な取組を進めていたが、より数値的に達成できるようにしていく必要がある。児童の生活面、学習面において、落ち着いて取り組み、向上している姿が見られている。より子に合った配慮のため、家庭との連携を密にしていきたい。</p> <p>○あいさつ、礼、返事すべてにおいて手本を見せたことで、進んで「笑顔であいさつ」できる子供が増えた。</p> <p>○朝の会や授業でのあいさつとき、だいぶ声が出るようになった。どのような場面でも声が小さく、自分の気持ちや思いを言えず黙り込む子には、粘り強く声がけしたい。</p> <p>○「笑顔であいさつ」ということについて、さらに職員全体が意識を共有できるとよい。まずは職員室でのあいさつを「笑顔」で明るく行いたい。</p> <p>○「えがお」はキーワードとして、浸透しつつある。</p> <p>○こちらからのあいさつが基本。下を向いている子供が多くあいさつが一方通行になりがちであるが、「笑顔であいさつ」できる子供は少し増えてきたように感じる。</p> <p>○4月・5月頃に比べると、子どもからあいさつが聞こえるようになってきた。</p> <p>△元気なあいさつができるようにするため、朝会時に、入場してくる子供たちにこちらからあいさつをするようにしているが、あいさつが返ってくる子供は多いが、進んで元気にあいさつしてくる子供はまだまだ少ない。</p> <p>△教師から大きい声であいさつするようにしたが、あいさつが返ってこない子供もまだいる。顔を知っている人とそうでない人に対して意識が違うかもしれない。あいさつは基本ととらえている。</p> <p>△自分から進んであいさつをする子供が少しずつ増えていると感じるが、まだまだ十分とは言えない。帰りの会でよくできていた児童の紹介を継続して行っていきたい。</p> <p>△「あいさつ運動」の当番になっている児童は頑張っている姿が見られるが、元気にあいさつを返せない児童も目立つ。継続が大切。</p> <p>△「笑顔であいさつ」は一部児童でできているものの、まだ足りないと感じるため、朝の会、帰りの会でまず一人一人が「笑顔であいさつ」できるようにしていきたい。</p> <p>△あいさつ運動は定着してきているが、やっている児童の態度面が気になるときがある。座り込んであいさつしたり、壁によりかかっていたり、なげやりなあいさつもあるので、心を込めたあいさつの指導も必要。</p> <p>△心に響くあいさつ運動を学校全体で心がけていきたい。</p>

各種教育活動について

日課表・週時程表について

・休憩時間, クラブ開始時間, 集会及び会議対応時程, 朝の時間 ・打合せ, 南っ子タイム, 朝の活動等

○震災後, 忙しい日程でスタートしたものの, 適切な日課表, 週時程で効率的に進められたと思う。

○南っ子タイムは, 基礎・基本の定着を図るのがねらいの1つであるから, 計算力が定着していない子供への個別指導ができる貴重な時間である。この点を大事にしていきたい。

△会議の精選に努めていきたい。(文書, ホワイトボード, 回覧での簡略化の推進)

△南っ子タイムの活動時間が延びてしまうときがあり, 時間の厳守を心がけたい。

体育的行事について

・校内リレー大会

○保護者が楽しみにしている。今年は, 体育部の先生がラインを引いてくださったので大変助かった。ありがとうございました。

○今回のように2日間に集約した方が校内の雰囲気づくりにもなり, よかったと思う。

○今年ひまわり学級の子供たちは全員リレー大会に参加し, 喜んで一生懸命走った。集団行動がとれるようになってきたことと, 各々の交流学年・学級の先生方と子供たちが, 温かく迎え, 工夫してくださったおかげと感謝している。

△暑い中での活動に, 体力を消耗した児童もいた。水筒を身近にもたせるというような対応があるとよかった。

遠足・宿泊的行事(校外学習含む)について

・5月6日(金)の遠足 ・各学年の校外学習

○6年生と手をつないでの遠足はとても良かったです。

○遠足は思ったよりも子供たちも元気で行って歩くことができ, 児童に不足している自然体験が十分できてよかった。下見をしっかりとすることも功を奏した。

○年度当初の遠足は, 親睦が深まり個の実態も見え, 学級の土台作りには大変良いと思う。4月下旬～5月上旬がよいと思う。

安全的・学芸的について

・避難訓練(地震対応), 引渡訓練 ・交通安全教室(1年歩行訓練, 全学年交通安全, 2年自転車)

○震災後の訓練ということで, いろいろ修正できてよかった。

○引き渡しはやはり今回の訓練のように外でやるのがよいと思った。

○避難訓練, 引渡訓練は実際に何か起きた場合の想定が細かく考えられていてよい。

△全学年交通安全教室は運営面と講話にもうひと工夫ほしいところ。

△緊張感のない児童が数名いたので訓練の大切さを繰り返し指導していきたい。

△雨天時のとき(引渡訓練)学年間の移動がないのは良いが, 親が兄弟を連れて移動することになるので, 時間と安全面への配慮が必要であろう。

△防災頭巾をかぶると学年, 学級の子供の掌握が難しくなる。カラーテープを張るなどの工夫が必要かもしれない。

△ザ・モールなど大型ショッピングセンターとタイアップした避難訓練が必要になってくるのだろうか。

<p>児童会行事について ・ハンノキまつりの実施時期</p>
<p>○1年生は大喜びで参加できました。 ○短時間に準備されており、大きなけがもなくできた。指導した先生方お疲れ様でした。 ○時期はこのままでよい。あとは準備にかかる時間をどのくらい効率的に進めていけるかだと思う。 △修学旅行や教育実習とも重なりかなり忙しそう。暑さも心配なので12月かどうか。</p>
<p>保護者対応行事について ・授業参観の回数や曜日 ・家庭訪問・個人面談の日数・日程等</p>
<p>○第1回参観日が土曜日であるのはとてもよい。保護者も参加しやすく低学年も集中して学習できる。 ○土曜日の自由参観は多くの保護者に来て頂けるのでよい。 ○授業参観の回数や曜日など、よかったと思った。 △個人面談の日程調整をもう少し早く行ったらどうか。</p>
<p>その他の行事等 ・故郷復興プロジェクト 他</p>
<p>○故郷復興プロジェクトは、やや準備がたいへんなものもあったが、復興に向けて頑張る児童が多く見られてよかったと思う。 ○本校の実態から考えると、今回のようなやり方が最善だったと思う。 ○故郷復興プロジェクトの本校の取組は、下学年は「元気に遊ぶ」、上学年は「ポイントに立ってあいさつをする」と活動が明確で子供たちは取り組みやすい。 △子供たちに意義を何度も話したが、交差点でのあいさつがもう少しであった。 △学校の負担が大きいように感じる。平常の円滑な教育活動＝復興ととらえてほしい。</p>
<p>その他(自由記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習を担当した先生方お疲れ様。昨年度までと違い4、5月の学級づくりが十分にできない状況にあったのに、6月に実習生を受け入れるのはたいへんだったと思う。 ・指導案作成や授業の進め方、学級経営に関して校長先生・教頭先生をはじめ、多くの先生方にご指導ご助言をいただきありがとうございます。今後改善に生かしていきたいと思えます。 ・会議が重なったときには、担当責任者の方が、多忙にならない方向ですぐに配慮してくださり、ありがたかった。 ・いつもご指導ありがとうございます。夏休み明け以降も一つでもたくさんの方の事を学ばせていただきたいと思う。 ・職員会議が時間内に終わるように時間を意識して進めていけたらと思います。